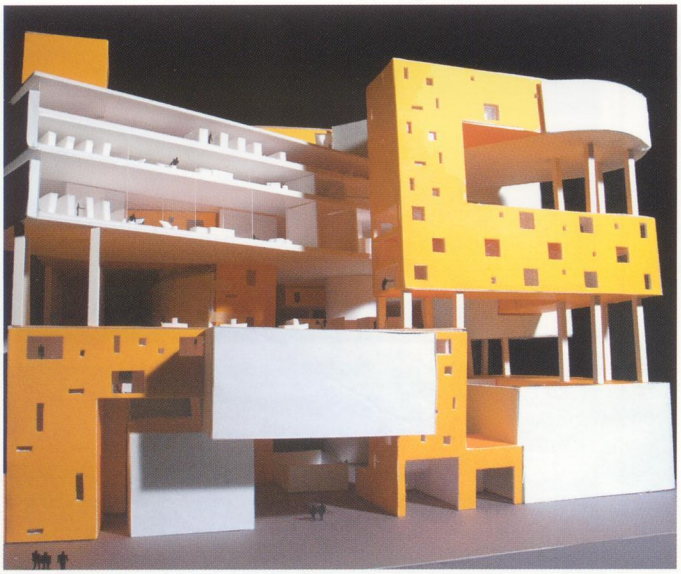
奨励賞　MP賞

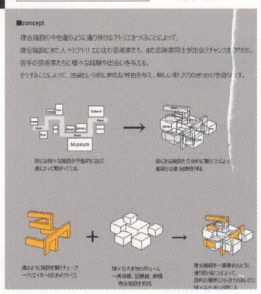
LINK

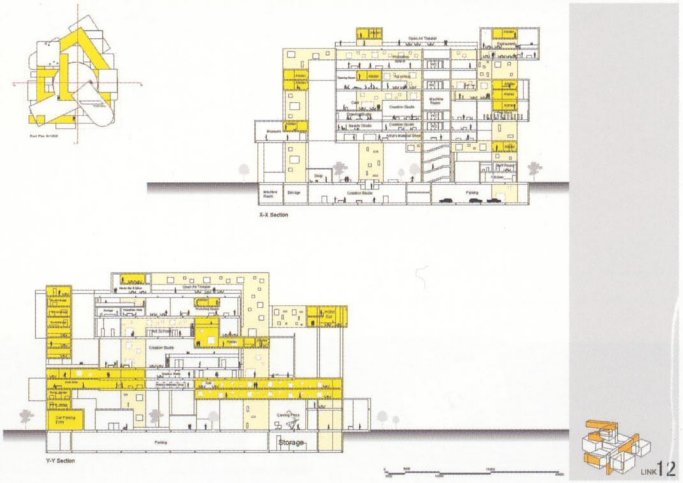
池袋モンパルナス再生Project

海老澤知絵（えびさわちえ）

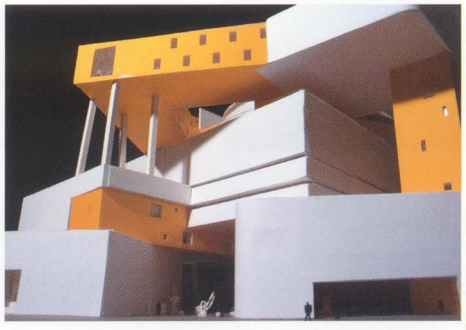
千葉工業大学　工学部建築都市環境学科







池袋は現在まで、東京の副都心のひとつとして発展してきた。しかし近年では「特徴のない街」というイメージが定着しつつあり、その将来が心配されている。そこで本計画では、かつて「池袋モンパルナス」と呼ばれたアトリエ村を池袋に再生することによって、池袋に新たな人々を呼び込むことを目的とした。若手クリエイターのためのアトリエが、美術館や劇場、図書館などの様々な施設を、道のようにつないでいく。そうすることによって、新しい出会いや経験を得ることができ、アトリエを借りているクリエイター同士や、クリエイターと美術館の来館者、またクリエイターとショップなど様々なコラボレーションなどが生まれ、この建築から、社会へと新しい可能性が広がっていくことを目指した。



[講評]　昭和40年前半に池袋の薫陶を受けた者にとって課題の設定と、建物の持つ何とも言えぬノスタルジーはまさに建築の持つアイデンティティの体現かと……。一見複雑に見える形態は、実は「ギャラリーなどの複合施設を一筆書きのように通り抜けるアトリエで構成する」シンプルな構造になっている。その緻密な構成力、表現力、そして何よりも表現することにそそいだそのエネルギーは賞賛に値します。あえて言えば、「美しいという事」にこだわるべきであるし、それは平面図にも立面図にも「図としての整合性」として現れるものである事を心してほしい。

表彰式の後の懇親会で特別審査員のモンキーパンチ氏とこの作品について話をする機会があったのですが、一頻り昔の池袋の話の後でモンキーパンチ氏曰く、「こんなのが出来たら住みたいね～」この言葉に作品のすべてが象徴されています。　[審査員：鈴木元晴]